



SPORTS JAPAN PROJECT

スポーツ振興くじ (toto・BIG) の運営・販売元である独立行政法人日本スポーツ振興センターは、その収益によってアスリートの育成や身近な地域のスポーツ活動・施設などに対して多くの助成を行っています。

もとしらね 本白根第3グラウンド (草津町大字草津1012)

草津町の郊外にあるサッカー場で、スポーツ振興くじ (toto) の助成を受け2011年に人工芝のグラウンドに再生。大人用1面、子ども用2面、フットサル1面がとれる11,327㎡の広さ。J1のピッチを手がけたメーカーによる人工芝は、完成から4年経た今も良好な状態を持続しています。



ザスパ草津チャレンジーズの練習のほか、子どもたちの大会も行われる。

★もっと助成活動について知りたい方は



上毛新聞社編集局報道本部
運動部記者
佐藤 秀樹 (さとう・ひでき)
ザスパ草津群馬の担当記者として、
全国を取材で飛び回る。



草津町役場愛宕町 部長
三浦 正欽 (みうら・まさよし) さん
教育委員会時代、本白根第3グラウンドの
人工芝化事業に携わった。



株式会社 草津観光公社
総務グループ体育施設受託事業課係長
鈴木 高史 (すずき・たかし) さん
サッカー場や野球場、体育館、プールなどを始め、
町営のスポーツ施設の運営管理を担当。



ザスパ草津群馬
小林 誠 (こばやし・まこと) さん
新潟県出身。桐蔭横浜大から2013年ザ
スパ草津チャレンジーズに加入。2015
シーズンよりトップチームに昇格。



エフエム群馬報道部チームリーダー
アナウンサー 記者
笹川 裕昭 (ささがわ・ひろあき) さん
「ユウガチャ」(16:00~18:55)で月~水を担当。
ザスパ草津群馬をはじめ、スポーツの取材多数。

企画・制作 / 上毛新聞社 東京支社

Love Sports GUNMA

vol.3

群馬県内の助成を受けたスポーツクラブや施設を、FMぐんまパーソナリティ、ザスパ草津群馬の選手、施設管理運営者の3つの視点から紹介します。

スポーツは育てることができる!

■草津初の人工芝のサッカー場

佐藤 人工芝のサッカー場に生まれ変わった経緯を教えてください。

三浦 1987年に天然芝のグラウンドとして整備され、毎年夏は「草津サッカーフェスティバル」の舞台として盛り上がっていました。ところが降雪地帯の草津では芝の養生が必要で、使用できる期間は7~9月まで。そこで、スポーツ振興くじ助成金を活用し、2012年に人工芝のグラウンドを整備しました。冬場の凍結対策として基礎からすべて施工をやり直し、透水性のアスファルト

トに加え、最上質の人工芝を採用しています。

佐藤 現在はどうのような利用が多いですか。

鈴木 ザスパの練習はもちろん、地元のサッカークラブ、サッカー少年団の練習に加え、夏になると少女、少年、高校女子、高校男子など4つの大会があり、7~8月は予約で一杯。現在は年間通じて使用でき、年間稼働日数は改修前の約4倍にも伸びました。

■軟らかく水はけも良く、サッカーレベルの向上に

佐藤 他のグラウンドとの違いは。

小林 これほど人工芝がきれいに保たれているサッカー場は珍しいです。水はけがとても良く、天候に左右されません。

佐藤 芝が良いと、プレーの質も違ってくるのですか。

小林 イレギュラーバウンドに気をつかう必要がないから思い切り動けます。また、芝が軟らかく腰や膝に負担がかかりません。

鈴木 整備する側としてけがの要因になるようなことには気を付けています。

笹川 ザスパ草津群馬のアマチュアチームである「ザスパ草津チャレンジーズ」から、3年連続でトップチーム昇格者が出ています。小林選手もこのグラウンドに育てられたという思い出が詰まっているんじゃないですか。

小林 思い入れは強いですね。アマチュアで、こんなに良い環境のサッカー場は他にないと思います。

笹川 2003年に初めてザスパを取材したときから何度か足を運んでいます。

その時々選手の頑張る姿が印象深い。ロケーション的にも浅間山や草津白根があり、ザスパらしいグラウンドではないでしょうか。



思い入れのあるグラウンドです。

公式戦に出場できるよう頑張ります。

できればもう1面人工芝のグラウンドを。

グラウンドゴルフやランニングなど健康増進にも利用者が多い。